



広島版

学びから始まる 地域づくりプロジェクト コーディネーター研修



ばれっとひろしま

広島県立生涯学習センター

ねらい

向上させたい能力 ▶ コーディネート能力の向上

- **地域の課題や将来像を共有し、地域住民が当事者意識をもって協働して地域課題解決学習に取り組むことができるよう、学びと活動が好循環する施策・事業を企画・実践する。**
- **人づくり・つながりづくりを通じた地域づくりの基盤を、他部局や多様な主体と連携・協働しながらともに構築する。**
- **地域内外の多世代・多目的・多様なたくさんの人や組織が乗り入れ、オープンでフラットなプラットフォームとして機能する場を提供する。**

日程・内容

第4回（本日）

時間	内容	学習支援者
10:00～	オリエンテーション・アイスブレイク	
10:10～	○ 「ひろプロ」プレゼンテーションについて	広島県立生涯学習センター 社会教育主事 松田 愛子
10:40～	○ 「ひろプロ」プレゼンシートの作成 ・ プレゼン資料の作成 30分 ・ プレゼン練習, 意見交流 40分 (8分×5本×2G)	広島県立生涯学習センター 社会教育主事 松田 愛子 東広島市教育委員会生涯学習課 社会教育指導員 土生 士郎
11:50～	振り返り・事務連絡 (12:00終了)	

研修日程【全6回】

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
7/5 (金)	7/22 (月)	8/23 (金)	9/20 (金)	10/23 (水)	
プレ研修	企画シート作成① (県の研修に参加)	企画シート作成② (リデザイン)	企画シート作成③ (プレゼン準備)	AM 研修成果発表	PM 全体研修へ参加

この研修で大切にしたい 5つの視点

- ① **自分を見つめ直し**，**振り返り**しましょう。
- ② **相手から聞き出す力**を育て合いましょう。
- ③ **広い視野**と**当事者意識**を持ちましょう。
- ④ **意見や考えの違いを乗り越え**，**他者と協働**しながら，**課題解決**に取り組みましょう。
- ⑤ **学んだことを仕事に生かす意識**を持って，**参加**しましょう。

「ひろプロ」 プレゼンテーションについて

プレゼンテーションとは

あなたが誰かを説得し、
その人があなたの考えに
同意し、決断して、
実行に移すようにしむけること

ボブ・ボイラン『プレゼンテーション成功の秘訣』
TBSブリタニカ



準備

- ▶ 発表内容 企画提案型プレゼンテーション
 - ・ 「企画」のプレゼン（提案） ×事例報告 ×事業説明
- ▶ 発表時間
 - ・ 発表 7分 + 3分（質疑応答等）
- ▶ 作成するスライド
 - ・ 9枚程度
 - ・ 「PowerPoint」で作成（読み原稿も入れる）
- ▶ 提出締切
 - 【1回目】 9月 日（ ）
 - ※ 市（生涯学習課）に提出，複数回指導，助言
 - 【最終】 10月 日（ ）

発表資料(スライド)の構成

1

表紙

2

現状と課題

3

目的

4

取組の概要①

5

取組の概要②

6

取組の概要③

7

成果指標

8

実施体制

9

スケジュール

(別添資料)

企画シート

基本的な流れ

導入

- ・あいさつ（自己紹介）
- ・趣旨説明（※**つかみ**）

展開

- ・現状・課題
- ・裏付けデータ
- ・アイデア, プラン
- ・見込まれる成果や効果

まとめ

- ・要約
- ・謝辞
（・質疑応答）

- ストーリー展開
(導入－展開－まとめ)
- まずは「見出し」を列挙
- 取捨選択 (欲張らない)
- 文章は箇条書き
- 体言止めで端的に (「。」 「、」は不要)
- 全体を貫くキーワード (記憶に残す)
- 用語を統一

プレゼンソフトの活用

PowerPoint(パワーポイント)

プレゼン資料作りの定番

- シンプルイズベスト** (1シートト1テーマ)
- 文字数は少なく, 文字サイズは大きく
- HGP創英角ゴシックUB** か **メイリオ**
- 全体的な統一感 (デザイン)
- 視覚的な表現 (グラフ, 図表, 写真)
- 無駄な装飾やアニメーションは不要

話し方のコツ

- 自分の言葉で（要点を絞って）
- 原稿をそのまま読まない（説明メモ）
- 一つの文章を短く（簡潔）
- 自信を持って（明瞭）
- ボディランゲージを意識
- 聴き手の反応を見ながら
- 「質問」で惹きつける
- 共感・信頼・納得 → 決断・実行

□ 質問への対応に備える

- 想定質問（3つ程度）への回答を用意
- 誠実に対応
- 質問を聞くときには質問者を見る
- 応答は全体に向かって
- 短く、論理的に
- 予想外の質問には間をおく

話し手と聴き手のコミュニケーション

何はともあれ練習！



- **制限時間を守る**

時間内にきちんと内容がおさまるように、
発表全体の時間の流れをあらかじめ計算

- **ストップウォッチを活用**
- **ぶっつけ本番は絶対ダメ！**
- **リハーサルを必ず行う**

聴き手からのフィードバック→改善

**プレゼンは一日にしてならず
まずは挑戦
練習あるのみ！**

いつやるの？

【参考文献】

○赤尾克己・山本慶裕／編著『学びのスタイル 生涯学習入門』玉川大学出版部

○ボブ・ボイラン『プレゼンテーション成功の秘訣』TBSブリタニカ

○木村純一『行政マンの政策立案入門』学陽書房

○前田鎌利『プレゼン資料のデザイン図鑑』ダイヤモンド社